

Webエントリー(研究概要入力)後、内容により部門の変更をお願いする場合がありますが、論文の書き方のフォーマットを示しますのでご利用ください。

## 論文の書き方(AITサイエンス大賞応募論文フォーマット) <自然科学部門・ものづくり部門>

論文題目名 ○○○○○○ \* (センタリング太字14pt) 論文提出後は変更不可

高校名 \* (右詰太字10.5pt)  
クラブ名  
生徒名(全員)  
指導教諭名(全員)

\* (各見出しは左詰太字12pt) \* (本文は標準10.5pt)

1. はじめに 研究背景・課題・動機など 興味を持って読める内容
2. 目的 どういう研究をするのかを明確にする
3. 研究の内容
4. (実験)(観察)(製作)の方法
5. (実験)(観察)(製作)の結果
6. 考察 感想ではなく、論理的な考え方で書く。今後の課題、問題点など。
7. おわりに まとめ・結論・総括など

(参考文献) 参考資料を必ず掲載

- 1) 著者名・発行年・タイトル・出版社
- 2) 著者名・発行年・タイトル・URL・アクセス年月日
- 3) 著者名・発行年・記事名・雑誌名・号数・出帆社

※ A4用紙、縦置き、横書き、45字×40行、7ページ以内

### <アドバイス>

- 取り上げたテーマに取り組む意義・目的・理由や独自性など分かりやすくまとめる。
- 過去に類似の研究、テーマを行っている場合や継続的な研究の場合、その経過や既発表のものとは本テーマの違いを明らかにする。
- グラフで示すときには、縦軸、横軸が何を意味するのか、単位を含めて明記し、一つのグラフに複数のデータを記載しない。
- 写真やグラフを掲載する際、審査や製本では、白黒になることを意識しながら作成すること、微妙な差異であれば、当該箇所を拡大、変化が数桁にも及ぶときは、log化するなど工夫をする。

Webエントリー(研究概要入力)後、内容により部門の変更をお願いする場合がありますが、論文の書き方のフォーマットを示しますのでご利用ください。

## 論文の書き方(AITサイエンス大賞応募論文フォーマット) ＜社会科学・地域づくり部門＞

論文題目名 ○○○○○○ \* (センタリング太字14pt) 論文提出後は変更不可

高校名 \* (右詰太字10.5pt)  
クラブ名  
生徒名(全員)  
指導教諭名(全員)

\* (各見出しは左詰太字12pt) \* (本文は標準10.5pt)

1. はじめに 研究・活動の背景・動機・意義など
2. 目的 研究・活動の目的や目標
3. 研究・活動の内容(概要)
4. 研究・活動の目的を果たすための調査・活動方法(計画)
5. 調査・活動の実施内容と成果
6. 考察
  - ・研究・活動についての想定(計画)と結果の比較対照。
  - ・想定(計画)と結果の差異についての考察。
  - ・課題(問題点)の抽出と課題解決の対策(提案)など。
7. おわりに 全体の総括・まとめ・結論・今後の課題・方針など

(参考文献) 参考資料を必ず記載

- 1) 著者名・発行年・タイトル・出版社
- 2) 著者名・発行年・タイトル・URL・アクセス年月日
- 3) 著者名・発行年・記事名・雑誌名・号数・出帆社

※ A4用紙、縦置き、横書き、45字×40行、7ページ以内

### ＜アドバイス＞

- 研究・活動について、科学論文らしく、論理的に、分かりやすく、アンケートや公的な統計データなどの客観的データを駆使してまとめる。論理性と課題の定量的把握を重視する。
- 研究・活動の在り方は、基本的に、仕事の手順としてのPDCA即ちP(Plan計画) D(Do実施・結果) C(Check結果の点検、評価、解釈) A(Action改善)を想定している。Pは論文の4.「研究・活動の方法(計画)」、Dが論文の5.「研究・活動の内容とその結果」、CとAが論文の6.「考察」に相当する。
- 過去に類似の研究を行っている場合や継続的な研究の場合、その経過や既発表のものとは本研究テーマとの違いを明らかにする。
- グラフで示すときには、横軸、縦軸が何を意味するのか、単位を含めて明記する。
- 写真やグラフを掲載する場合、審査や製本では、白黒になることを意識して作成する。
- この研究と参考資料との違いを明確にし、独自性を明らかにする。